

緊急調査の内容

事項

要点

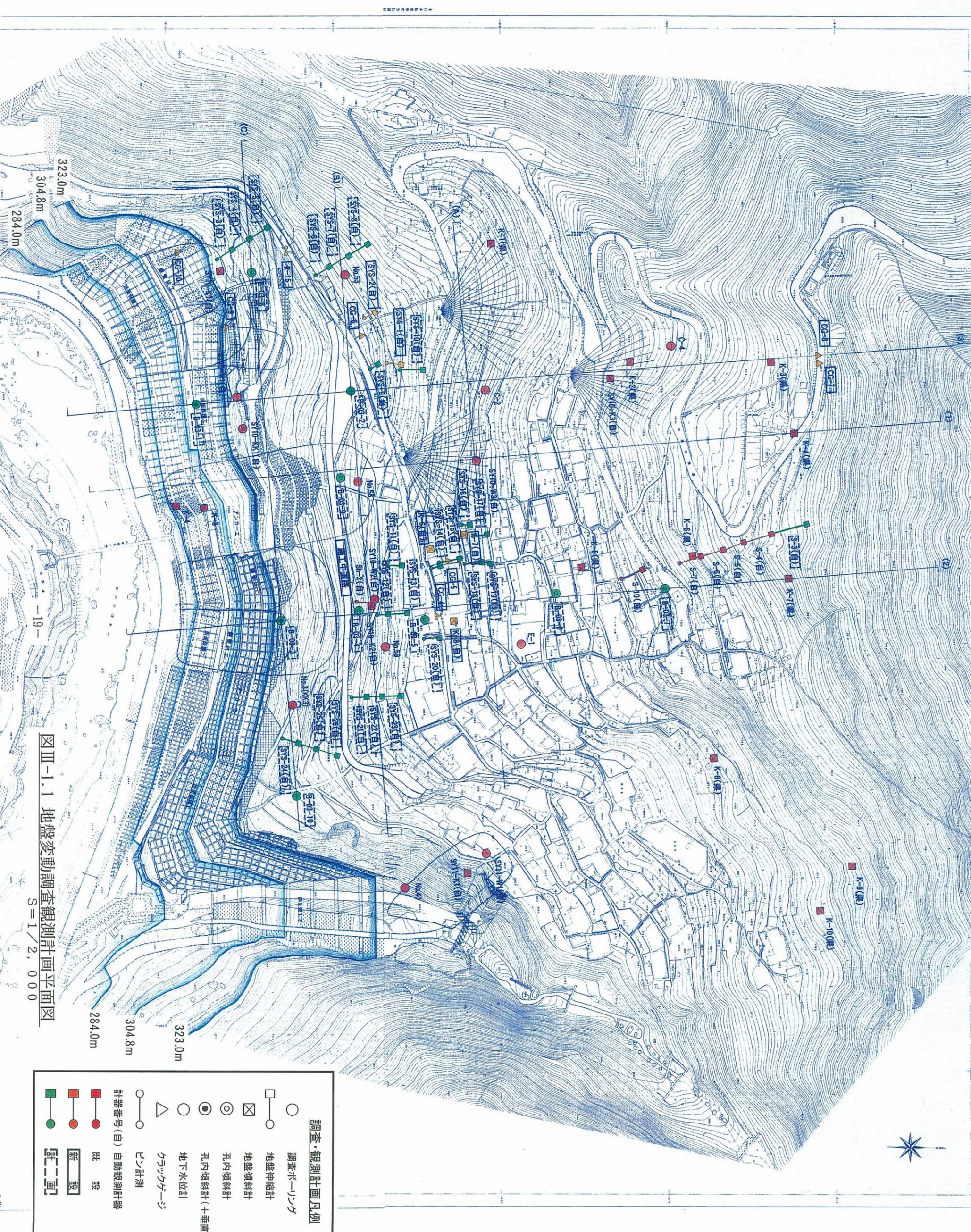
備考

1. 調査及び地盤変動計測計画

白屋地区で発生した亀裂現象の発生原因を究明し、その対策工を検討するための基礎資料とする。
以下に緊急調査内容を表 -1.1 及び図 -1.1 に示す。

表 -1.1 緊急調査内容一覧表

調査・観測項目	番号	数量		目的	緊急度	
		既設	緊急計画			実施中,済
調査 ボーリング	B03-1		45.0m	施工中	地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面未端部における変動の有無及び変動位置を確認する。	A
	B03-2		65.0m	施工中	地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面直上で発生した亀裂現象の地山内部での変動位置を確認する。	A
	B03-3		55.0m	施工中	地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面未端部における変動の有無及び変動位置を確認する。	A
	B03-4		70.0m	施工中	地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面直上で発生した亀裂現象の地山内部での変動位置を確認する。	A
	B03-5		80.0m		地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面直上で発生した亀裂現象の地山内部での変動位置を確認する。	A
	B03-6		70.0m		亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	B
	B03-7		80.0m		亀裂現象位置よりも上方斜面での地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより地山内変動の有無を確認する	B
	B03-8		35.0m		地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面直上で発生した亀裂現象の地山内部での変動位置を確認する。	A
	B03-9		65.0m		地山内部の地質状況を確認し、孔内傾斜計による観測を実施することにより変動の有無及び変動位置を確認する。	A
	B03-10		65.0m		尾根部が不動岩盤であり、孔内傾斜計による観測を実施することにより斜面変動範囲が上流部へおよんでいないことを確認する。	B
対策工 健全度調査			1箇所		亀裂発生箇所付近に集水井の変形及び集水ボーリング孔の変形調査(換尺棒等)	A
	B03-24		8箇所			A
観測	地盤伸縮計		6基	2基	亀裂現象の変動状況及び、白屋地区の変動範囲を把握する。また、変動量により警戒・避難体制の資料とする。	A
	地盤傾斜計		2基	3基	地盤変動状況及び変動範囲を把握する。	A
	孔内傾斜計		2箇所	10箇所	調査ボーリング孔を利用して、地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。	A
	地下水位		10孔		地山内の地下水位を観測することにより、貯水位との相関性、地山内の残留を把握する。	A
	クラックゲージ			7基	7基	人家等構造物に亀裂が発生した場合、その後の変動を把握する。
水準測量			1測線		道路(白屋地区内道路、施工中の道路)上において水準測量を実施し、斜面の変動範囲及び変動状況を把握する。	B
定点観測			1測線		斜面下部の対策工に定点を設置し、光波により変動状況を把握する。	B



図Ⅲ-1.1 地盤変動調査観測計画平面図
S=1/2,000

調査・観測計画凡例	
○	調査ポイント
□	地盤伸縮計
⊠	地盤傾斜計
⊙	孔内傾斜計
⊙	孔内傾斜計(+垂直伸縮計)
○	地下水位計
△	クラックゲージ
○	ピン計測
○	計器番号(自)
○	自動観測計器
■	既設
■	新設
■	新設